

統計とっとり

平成24年3月
第101号
鳥取県企画部統計課
TEL 0857-26-7103
FAX 0857-23-5033

統計課ホームページアドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/toukei>



国勢調査

鳥取県のすがた

平成22年国勢調査の結果（確定値）によると、鳥取県の人口は、588,667人でした。平成17年国勢調査と比べると、唯一、日吉津村の人口が増加しています。また、一世帯あたり人員は八頭町が3.34人と最も高くなっています。

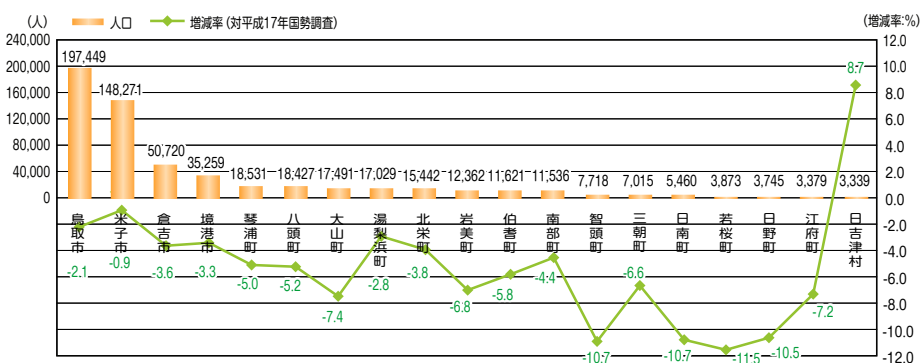


今年は経済センサス
—活動調査
調査員の皆様ご協力
ありがとうございました。

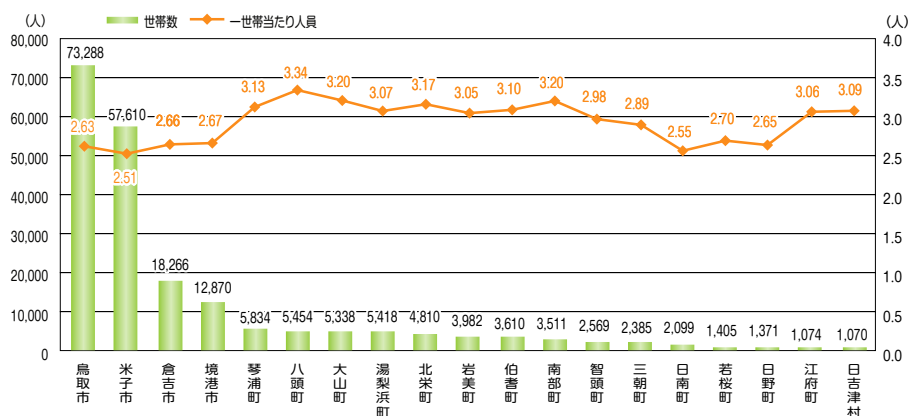


平成24年
経済センサス
活動調査

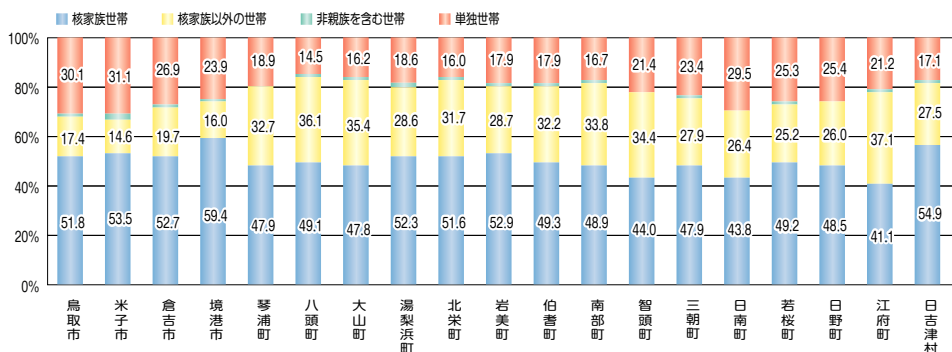
市町村別人口



世帯数と一世帯あたり人員



家族類型別一般世帯の構成



平成23年度研修会の報告

研修の機会を提供し、登録調査員の資質向上を図ることは国、県の大切な役割です。積極的にご参加ください。併せて、「鳥取県統計調査員会」の研修事業等も紹介させていただきます。

都道府県別登録調査員研修会の開催



東講師の講義に聴き入る参加者

総務省主催による「都道府県別登録調査員研修会」を、平成23年9月26日に鳥取会場（県庁会議室）、27日に米子会場（西部総合事務所）で開催し、合計67名の方に参加していただきました。

県から統計についての講義、株式会社TEIから東節子講師による接遇・話し方についての講義、班別討議では「統計調査に向けて心がけていること」「困難事例はこうして乗り越えよう」というテーマでグループ討議を行い、それぞれの班から代表の方に発表していただきました。

登録調査員中央研修に参加

10年以上の経験を持つ登録調査員を対象に、平成23年12月5日（月）～6日（火）にかけて開催され全国から122名が参加されました。鳥取県では、鳥取市、倉吉市から推薦された中島光子調査員、大田良子調査員に参加いただきました。

研修日程

12月5日（講義）

1. 国勢調査について—結果の公表と利用—
2. 家計簿から見た暮らしぶり—家計調査の結果より—
3. 工業統計調査の概要
4. 平成24年経済センサス—活動調査の実施について

12月6日（班別討議）

「調査をスムーズに行うアイデアはあるか？」



大田調査員（手前）と中島調査員（奥）

参加者からのコメント

大田調査員から、

「開講の挨拶で、統計あつての国家、国家あつての統計という言葉聞いて、私共も重要な仕事の一端を担っているのだと身の引き締まる思いだった。国勢調査の集計により、男女別人口、年齢別人口、世帯数等、主な結果利用として、地方交付税の分配、議員定数、児童福祉、高齢者福祉、母子福祉等の基礎資料と必要とされている事項の多い事に驚いた。4月1日以降より政府統計の統一ロゴタイプが決まることで、国の調査であることが一般の人にもよくわかって協力をお願いしやすくなると感じた。」など感想がありました。

中島調査員から、

「不在世帯について、連絡メモを活用する（調査員の氏名電話番号を記入する。時には10円をメモに貼る等）、時間、曜日を変えて何度も訪問する。面接困難世帯について、オートロックマンション等の場合、管理人や管理組合に協力依頼する。また、国勢調査などは管理人に統計調査員になってもらう。プライバシー意識の高まりから、個人情報保護法を理由に拒否されることがあり、そういった場合は、統計法で守られていることを説明する。」などが班別討議で意見交換されたとのことでした。

また、「全国の皆さんも困難な中で何度も足を運び、誠意を持って調査にあたっておられると感じた」との報告がありました。



班別討議での意見交換
中島調査員

鳥取県統計調査員会の研修事業

「鳥取県統計調査員会」は、登録調査員のうち入会を希望された方々で構成されている会で、統計調査員経験者の有志の方々が立ち上げた全国でも珍しい任意団体です。

小谷邦子会長に研修事業など会の活動についてお話を伺いました。

○鳥取県統計調査員会とは、どのような団体でしょうか。

平成10年に設立され、当時は鳥取市と米子市の登録調査員で構成されていました。現在は、全ての市町村の調査員が会員になることができる全県的な団体になっており、東部、中部、西部支部に分かれて活動をしています。

○研修事業をはじめとした会の活動は？

主に①統計調査員の資質向上のための研修事業、②普及啓発活動と社会参画事業への取り組み、③会員同士の親睦交流など3つを中心に活動しています。平成23年度は研修会を2回開催し、統計の普及啓発のため、イベントにも参加しました。

○4月の研修会では、皆さんが積極的に参加しておられました。実地調査の寸劇など演じておられ、熱心な取り組みが印象的でした。

研修会では、民間から接遇をはじめとした様々な分野の講師をお呼びして講習をしていただいたり、県や市の研修会に誘い合って参加したりして、資質向上に努めています。



研修会での意見交換



実地調査の寸劇を演じる会員の皆様

○平成22年国勢調査では、PRの支援をしていただきました。

統計調査を知っていただくことは、調査をスムーズに行うことにも繋がります。「食のみやこ鳥取県フェスタ」では、来場者の方にブースの案内をしたり、「とっとり女性フェスタ」や「よりん記念日フォーラム」への参加、また、公民館事業などで県が作成された統計パネルの展示をしています。

○今後の取り組みについてお尋ねします。

平成24年度は、各町村の登録調査員の多くの加入を目指しており、会の充実を図りたいと考えています。また、より一層、資質の向上に力を入れて取り組んでまいります。本会は会員の創意工夫で運営しており、たくさんの方の登録調査員の方に参加していただくことを希望しています。実地調査に慣れていない方は悩んでしまうことも多々あります。そんなときに先輩調査員の体験談を聞いたり、仲間同士の交流の場があれば心強いものです。ぜひ、加入いただき、研修会や普及啓発活動に参加いただけたらと思います。研修会も意見交換会も和気あいあいとして楽しいですよ。

鳥取県統計調査員会の皆様、

これからも、県や市町村とともに統計調査員の資質向上に取り組んでいただきますようお願いいたします。

入会を希望される方は、各支部に直接お問い合わせください。連絡先は以下のとおりです。

鳥取県統計調査員会

東部支部 小谷 邦子 0857-23-4338

中部支部 牧田 純江 0858-36-3024

西部支部 山根 啓子 0859-22-8413



普及啓発活動に参加された会員の皆様

平成23年度統計功労者表彰式・統計セミナー

県、倉吉市、鳥取県統計協会の主催により、平成23年11月15日（水）、倉吉交流プラザ視聴覚ホールで、約90名の参加を得て盛大に開催しました。

統計功労者表彰式

表彰式では、統計に功績のあった調査員や事業所に対し、各省大臣表彰、鳥取県知事表彰、鳥取県統計協会会長表彰が行われました。各省大臣表彰は、総務省政策統括官付統計審査官 高田聖治様より、鳥取県知事表彰並びに鳥取県統計協会会長表彰は、県統計課 杉本朗課長より伝達しました。

受賞者を代表して、総務大臣表彰受賞者 福井輝夫調査員より「様々な調査にかかわって五十数年になります。重要な統計調査に元気でかかわってこれたことをありがたく思い、感謝しています。」と謝辞を述べられました。

当日は、平成23年春と秋に栄典を受けられた6名の方々を披露し、ご出席いただいた坂本千鶴子調査員、山田昌子調査員、田中あい子調査員にあっては、ステージに登壇いただき、お祝いの拍手を受けられました。



表彰状の授与



福井調査員の謝辞



瑞宝単光章を受けられた山田調査員の慶びの言葉

統計セミナー

表彰式に引き続き、統計セミナーを開催しました。

『統計調査から分かること』と題して、高田様から、国勢調査をはじめとして、社会生活基本調査、家計調査に関連した鳥取県の状況をご紹介いただきました。

「平成18年社会生活基本調査ではボランティア活動をした人の割合が鳥取県は34.5%と日本一でした、平成23年の調査結果ではどうなるのか」「まんじゅうやチョコレート菓子の購入は、実は鳥取市は日本一なんです。」といった意外なお話も伺いました。

参加者の方も熱心に聴講され、統計調査がどのように利用され、また、役立っているのか理解していただくうえで、たいへん有意義なセミナーでした。



受賞の皆様おめでとうございます

<総務大臣表彰>

労働力調査

調査員 森 山 敏（境港市）

小売物価統計調査

調査員 山 根 裕 子（鳥取市）

家計調査

調査員 黒 岩 八重子（智頭町）

国勢調査

指導員 三ツ中 義 雄（鳥取市）

指導員 福 井 輝 夫（倉吉市）

指導員 絹 見 孝 一 郎（湯梨浜町）

指導員 藤 森 高 善（日南町）

調査員 久 野 純 子（鳥取市）

調査員 梅 林 浩 史（米子市）

調査員 池 田 敏 夫（倉吉市）

調査員 宮 本 澄（倉吉市）

調査員 松 本 亮 子（境港市）

調査員 川 元 義 之（岩美町）

調査員 河 本 久美子（湯梨浜町）

調査員 石 門 敏 昭（日吉津村）

調査員 田 中 定（大山町）

調査員 長 尾 春 彦（日南町）

各種統計調査

調査員 横 山 政 枝（鳥取市）

調査員 小 徳 収（境港市）

<厚生労働大臣表彰>

労働統計関係

事業所 社会福祉法人ウイズユー千代工場（鳥取市）

事業所 日ノ丸観光株式会社ホテルニューオータニ鳥取（鳥取市）

事業所 株式会社ミヨシ産業プレカット工場（米子市）

事業所 西谷技術コンサルタント株式会社（倉吉市）

調査員 林 加代子（鳥取市）

<経済産業大臣表彰>

構造統計

調査員 麻 本 佳 江（鳥取市）

<経済産業省感謝状>

経済産業省所管統計調査

調査員 坂 口 礼 子（鳥取市）

調査員 田 中 幸 子（鳥取市）

調査員 野 際 恵（鳥取市）

調査員 山 本 恵 子（鳥取市）

調査員 本 池 和 子（米子市）

調査員 永 見 恵 子（岩美町）

調査員 岩 佐 正 巳（三朝町）

調査員 鶴 野 麻 利 江（琴浦町）

調査員 本 田 洋 子（伯耆町）

<鳥取県知事表彰>

鳥取県鉱工業生産動態調査

事業所 鳥取旭工業株式会社（鳥取市）

事業所 郡家コンクリート工業株式会社（八頭町）

調査員 大 坪 宣 子（鳥取市）

永年従事調査員

調査員 先 灘 達 也（米子市）

調査員 宅 和 茂 史（米子市）

調査員 古 井 靖 子（米子市）

調査員 柿 本 富美子（北栄町）

調査員 加 藤 良 子（日野町）

<鳥取県統計協会会長表彰>

鳥取県鉱工業生産動態調査

事業所 株式会社さんい製造工場（境港市）

事業所 株式会社テクノメタル（三朝町）

統計調査員功績者

調査員 山 崎 綾 子（鳥取市）

調査員 岡 田 信 行（米子市）

調査員 山 中 美智子（倉吉市）

調査員 高 木 健（境港市）

調査員 林 原 康 子（境港市）

調査員 松 本 里 江（境港市）

調査員 杉 村 倫 子（湯梨浜町）

（敬称略、順不同）

荣誉に輝く 平成23年春と秋、6名の統計調査員の方に 栄典が授与されました

平成23年春 瑞宝単光章



坂本 千鶴子 調査員（鳥取市）

平成23年春の叙勲をいただき感激しました。昭和40年国勢調査からでした。人との付き合いもなく不安でしたが、地元でしたので、心配したほどではありませんでした。でも、長く携わるにしたがって、人間関係の難しさを知りました。どんなことがあっても低姿勢で笑顔を忘れない、信用を得ること、必要外の事の話をしてない、これが私の経験です。長く続いたのは統計調査をしてくださった人、指導員の方、家族の協力があったこと。ありがとうございました。



山田 昌子 調査員（倉吉市）

30数年前、市報に掲載された「統計調査員募集」の公募に応募したのをきっかけに統計調査に関わらせていただいております。世の中は、高度経済成長、オイルショック、機械文明と目まぐるしく変化してまいりました。また、今日では個人情報漏洩を心配され、十分な説明を必要とします。いずれの調査も調査対象の方々のご協力により達成出来ましたこと、有り難く思います。この度の受章は、県や市の関係者その他大勢のご支援ご指導の賜と厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

平成23年春 藍綬褒章



田中 あい子 調査員（鳥取市）

平成23年春の褒章で、藍綬褒章という身に余る栄誉をいただき、皇居に於て天皇陛下からお言葉を賜るといふ大変貴重な体験をさせていただきました。

これもひとえに、快くご協力いただいた店舗や世帯の皆様を初め、ご指導いただいた県の担当職員の方々、調査員の良き仲間の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。これからも感謝の気持ちを忘れず、少しでも社会のお役に立てるよう頑張っていければと思っております。

平成23年秋 瑞宝単光章



吉村 善雄 調査員（鳥取市）

平成23年秋の褒章叙勲に際し瑞宝単光章の栄に欲しました。多くの方々のご指導ご鞭撻の賜物です。統計に携わって以来、今日まで正確かつ迅速をモットーにして約束事の厳守が信頼を得る一番の基本として考えこれに徹してきました。平成14年の産業職業分類の中央研修に参加した成果は、今の統計調査に基本として役立っています。こういう研修会があれば個人負担でも参加できればと願うばかりです。統計調査は人と人を繋ぐ機会です。その繋がりには信頼の証そのもので、私の貴重な財産となっています。



大田 良子 調査員（倉吉市）

このたび平成23年秋の叙勲に際し瑞宝単光章の栄に浴しました。これも永年の統計調査員をさせていただいたお蔭です。私としては何年も続けていたという思いはありませんでした。一回一回の調査を初めてというような気持ちで、調査説明書をよく読み服装も華美にならないようにし、一歩下がって相手の方の話を聞く。それから、第一印象がとても大切で、相手の方にどう伝えるか、このような事に気をつけて今まで調査員をさせていただきました。

平成23年秋 藍綬褒章



豊嶋 文江 調査員（琴浦町）

藍綬褒章を賜り身に余る光栄と感謝いたしております。伝達式に続いて皇居に参内し秋篠宮殿下に拝謁の栄誉とともにお言葉を賜り感激の極みでした。思い起こせば昭和50年より各統計調査に携わってまいりました。この度の受章は県や町の統計関係者の皆様のご指導と多くの方々のご協力の賜と深く感謝しています。今後はこの栄誉に恥じないよう精進したいと思います。

家計調査通信

「ふるさとのたより」から



総務省統計局が家計調査に携わる統計調査員に向けて発行している「家計調査通信」に、鳥取市で活躍されている野村ルミ子調査員が寄稿された「ふるさとのたより」が掲載されましたので、ご紹介させていただきます。

野村ルミ子調査員の真摯な取り組みと、調査客体の方との心温まるエピソードは、全国の家計調査を担当する統計調査員の大きな励みとなったのではないのでしょうか。

昨年、山陰海岸国立公園を中心とした地域は、念願の「世界ジオパークネットワーク」への加盟が認定されました。「ジオパーク」とは、自然科学的に見て重要な自然遺産を含み、自然に親しむための公園のことです。まさしく清らかな水、豊かな海に恵まれ、緑にあふれた鳥取県です。

私は、この恵まれた環境に感謝しながら、調査員の仕事をさせていただいて12年になります。毎回、新しい世帯の方々に出会っていく調査であるだけに、今もなお、初めての頃と変わらずに、新鮮な思いで続けさせていただいております。

家計簿の記入は、プライバシーに深くかかわるデリケートな内容であるにもかかわらず、家計の内情をありのままに記入して下さる方々、「記入する時間があつたら休みたい」とおっしゃりながらも記入を続けて下さる方々、ご高齢の方の介護をしながら、また、ご自身が病院通いをしながら協力して下さる方々には、本当に心から敬服するばかりです。いつも「自分だったら出来るだろうか」と、問わざるを得ません。

ですから、新しく調査に向う時には、「今回はまたどんな良い方にお会いできるだろうか」と、胸躍る思いがします。この出会いが楽しみで、今まで続けることが出来たのだと思います。

家計調査では、近年、生活保護世帯の方が調査対象となる事が増えてきておりますが、「こんな形で恩返しできるなら、ありがたい。」「私たちの生活をわかってもらえる良い機会です。」とおっしゃり、事細かく記入して下さいます。

また、東日本大震災の直後には、何年も前に家計調査に協力して下さった方々から、「ご実家は大丈夫ですか。」とお電話をいただきました。私が福島県出身だということを覚えてくださったのです。わずかな出会いの中で、こんなにも他人を思いやることができるのかと、感激の涙があふれました。

中には、調査終了後、地元の新聞社に、家計簿を記入したことで気づけた様々なことや、世のため人のためになる調査のお手伝いが出来たことへの感謝の気持ちを投稿して下さった方もおられました。この方は、「こうして、一人一人が安心して守られ、暮らしていけるのも、調査員の方々の目に見えぬご苦勞で成り立っていることに気付かされた半年間だった。」と、文章を締めくくってくださったのです。改めて、背筋が正される思いがしました。

調査の環境がいかに厳しくなっていくても、こうしてきちんと理解し、協力して下さる方々がいて下さることを信じて、楽しみつつ、調査員を続けていきたいと思っています。

総務省統計局発行「家計調査通信（第454号）」から転載

肉食系、草食系、そして魚食系？～鳥取市の食卓～

さばくのが手間などの理由で魚離れが進んでいるといわれていますが、長年親しんだ味は、離れづらいものです。

家計調査によると、平成20年から22年平均の都道府県庁所在市別[※]（2人以上世帯・1世帯当たり）ランキングでは、鮮魚の消費量で鳥取市が2位になっています。個別の魚種では、いわし、かれい、かにで1位。近海で親しまれたものがそろっています。

牛肉、豚肉に比べると、いわし、かれい、かにの消費量は少ないですが、鮮魚はあじ、さば、ぶり、いかなど幅広く食されているため、消費量トータルでは、生鮮肉の消費量を上回っています。

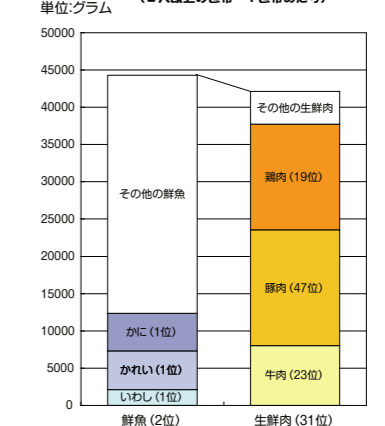
鮮魚の消費量が生鮮肉を上回っているのは、都道府県庁所在市[※]では鳥取市を含め、青森市等4市だけ。

肉食系、草食系という言葉がはやりましたが、魚食系があってもよいのでは？

[※]川崎市、浜松市、堺市及び北九州市を含む。

平成20～22年平均消費量

（2人以上の世帯・1世帯あたり）



順位は都道府県庁所在市別[※]

よろしく
お願いします

平成24年度に実施される

統計調査（調査員調査）の一覧

市町村	市町村委託分		県直接調査分										
	就業構造基本調査	工業統計調査	小売物価統計調査 (動向編)	小売物価統計調査 (構造編)	家計調査	労働力調査	個人企業経済調査	毎月勤労統計調査 (第一種)	毎月勤労統計調査 (特別調査)	生産動態統計調査	商業動態統計調査	鉱工業生産動態調査	平成25年住宅・土地 統計調査単位区設定
	10.1	12.31	毎月	隔月	毎月	毎月	毎四半期	毎月	7.31	毎月	毎月	毎月	2.1
鳥取市	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
米子市	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○
倉吉市	○	○				○		○	○	○		○	○
境港市	○	○				○		○	○	○		○	○
岩美町	○	○	○			○				○			○
若桜町	○	○						○		○			○
智頭町	○	○			○	○		○	○				○
八頭町	○	○				○		○		○			○
三朝町	○	○				○							○
湯梨浜町	○	○				○		○					○
琴浦町	○	○				○	○	○	○	○			○
北栄町	○	○				○		○	○	○			○
日吉津村	○	○											○
大山町	○	○				○			○	○			○
南部町	○	○								○			○
伯耆町	○	○							○	○			○
日南町	○	○				○							○
日野町	○	○				○							○
江府町	○	○							○				○

注：○印は対象市町村を示す。

平成24年4月1日から国の統計調査に統一ロゴタイプが表示されます



平成24年4月1日以降、国の統計調査の調査票などに左のロゴタイプが表示されます。これは「国の統計調査であること」「秘密の保護に万全を期していること」を証明するものです。

実地調査の現場で、この統計調査は国が行っている信頼の置けるものとして調査客体に説明される際などに、このロゴタイプを示して活用ください。

コンセプト

- ・日本列島と日章旗をイメージ（国の統計調査であることを認識しやすい）
- ・棒グラフをイメージ（「統計」であることを認識しやすい）